

講義名	コミュニケーション論		
科目区分	学部専門基礎 選択必修		
担当教員	内田 啓太郎		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	25048

主題と概要

情報通信ネットワークが社会にくまなく張り巡らされている現在において、われわれは「コミュニケーション」という言葉を日常の言葉として、考えることなく使っていないだろうか。「コミュニケーション」とは対面状況 (face-to-face) でのコミュニケーションからモバイル機器やインターネットなどのメディアを通じたコミュニケーションまで、さまざまな状況のもとで実践される社会的行為である。この多種多様なコミュニケーションのあり方を社会学の領域であるコミュニケーション論にもとづき講義形式の授業を行う。

到達目標

社会学の領域であるコミュニケーション論を学ぶことを通じて「コミュニケーション」を実感のともなう言葉として使えることを目指してゆく。そのために最低限必要と思われる知識の習得および理解を目指す。

提出課題

授業中に複数回、課題を出題しますので必ず提出してください(成績評価に含まれます)。課題の内容や提出方法・締切りについてはその都度指示します。

評価の基準

出席点および授業中の課題と学期末に実施するレポート試験(レポート提出)の成績により評価します。両者の割合は、出席点および授業中課題が50%、レポート試験が50%です。

履修にあたっての注意・助言他

「コミュニケーション」は私たちの日常生活にあふれています。普段からそういったコミュニケーション行為・状況について興味や関心を持っていると、授業内容の理解が進みます。また授業内容についてわからないことは積極的に担当者へ質問してください。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

毎回の授業ではスライドまたはレジュメを提示しますが、必要なプリント資料があれば別途配布します。ただし教師からは印刷・配布を行わないため、受講者が事前に印刷し、持参すること。また、参考となる文献については随時紹介します。

授業計画

本授業の実施計画は以下の通りです。変更がある場合は随時連絡をします。

- 第1週 コミュニケーションと「自我」について：わたしが「わたし」であることとは何か(1)
- 第2週 コミュニケーションと「自我」について：わたしが「わたし」であることとは何か(2)
- 第3週 コミュニケーションと「自我」について：社会における「わたし」の「役割」
- 第4週 自己表現とコミュニケーション(1)
- 第5週 自己表現とコミュニケーション(2)
- 第6週 役割距離と役割形成
- 第7週 「創発的内省」とコミュニケーション
- 第8週 コミュニケーションの基礎概念(1)
- 第9週 コミュニケーションの基礎概念(2)
- 第10週 若者の人間関係とコミュニケーション：「若者の人間関係は本当に『希薄化』したのか」(1)
- 第11週 若者の人間関係とコミュニケーション：「若者の人間関係は本当に『希薄化』したのか」(2)
- 第12週 電子メディア上のかかわり：「『マスメディアの時代』から『かかわりのメディアの時代』へ」
- 第13週 ヴァーチャルな他者とのかかわり：「模倣という快楽と自己承認」
- 第14週 視線 としての他者：「ファッションをめぐる」
- 第15週 授業全体の振り返り/レポート試験の解説

予習・復習

授業で使用するスライドや、その他の資料については、ネット上で公開し、アクセス可能にします。それらのスライドや資料、また授業中に紹介する文献を読むことが、予習・復習となります。また、授業に関する質問を積極的に行い、授業内容への理解度を上げておくことも含まれます。

備考

担当者へは電子メール(keitaro@u-labo.org)またはソーシャルメディア(@ucdktr2016)経由で連絡してください。